

生命いのちの言葉

平成二十六年六月

おもしろき  
こともなき世を  
おもしろく

高杉晋作

裏面もご覧下さい。

生命いのちの言葉  
六月

この句に、福岡の野村望東もとくに尼にが続けて  
「すみなすものは 心なりけり」と  
加えたとされる。  
この世をおもしろいと感じるか、おも  
しろくないと感じるかは、心の持ち  
方次第であるという意味。

高杉晋作 (たかすぎしんざく)

一八三九〜一八六七年。江戸時代後期の長州藩士。  
幕末に長州藩の尊王攘夷の志士として活躍した。  
奇兵隊など諸隊を創設し、長州藩を倒幕に傾けた。

\*紫陽花の彩り豊かなこの季節ご参拝の皆さまに「幸多かれ」と祈ります

\*あじさい

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



伊勢神宮に  
参拝しましょう